

IGES SDGs Briefing Note

SDGs に関する最新動向と IGES の取組み

第 2 号 2016 年 12 月

目次 CONTENTS

1. 最新国際動向

【国際】

- SDGs 指標に関する専門家会合に向けて IGES もインプット 2

【アジア】

- UNESCAP 主催、SDGs Week に参加
(11 月 28 日-12 月 2 日、バンコク) 2

2. 政府の取組み

【国内の動向】

- 持続可能な開発目標推進本部円卓会議開催、SDGs 実施指針の検討進む 3
- SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第 2 回会合を開催
(2016 年 12 月 20 日、東京) 3

3. 非政府アクターの取組み

【自治体/都市】

- 第 3 回国連人間居住会議(HABITAT III)でニュー・アーバン・アジェンダが採択
(2016 年 10 月 17-20 日、エカドル・キト) 3

【企業】

- IGES の宮澤主任研究員が SDGs と企業の動きについて紹介！ 4
- SDGs と企業の取組みに関する IGES SDGs Updates
「企業報告書から見る SDGs 活用の現状と課題～SDG コンパスを主軸に」を発表 4
- 持続可能な地域づくりと企業や自治体のパートナーシップに関するシンポジウムに
松下和夫 IGES シニアフェローが登壇 4

【研究機関・市民社会 等】

- IGES と東京都市大学が SDGs 実施(環境教育や都市分野)に向けて協定を締結！ 4
- IGES が国際持続可能開発研究所(IISD)と連携協力に関する覚書を締結！ 5

4. 今後の主要イベント 5

この Briefing Note では、SDGs に関する最新の国内外動向と IGES の取組みを紹介します。

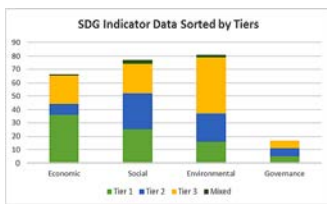
IGES の SDGs に関する出版物やその他の関連情報は以下の SDGs プロジェクトをご覧ください。

SDGs プロジェクト

“Aspiration to Action”

www.iges.or.jp/jp/sdgs/

1. 最新国際動向



Source: Data is taken from UNSD, 2016

<国際>

SDGs 指標に関する専門家会合に向けて IGES もインプット

SDGs のためのグローバル指標を議論する第 4 回 SDG 指標専門家会合（IAEG-SDGs）が、2016 年 11 月 15-18 日にスイス・ジュネーブで開催されました。会合では、概念や手法が明確でない指標（Tier III 指標）の扱いや、各指標のデータを管理する機関（custodial agency）の選定、各国が SDGs の進捗を報告するための SDG アニュアルレポート用のデータの扱い、国際機関の役割などについて議論されました。本会合の報告書が 12 月初旬に国連統計委員会に提出され、2017 年 3 月には第 48 回国連統計委員会が開催される予定です。その一環で、IGES は環境側面からのインプットとして IGES SDGs Updates「[Environment Is the Weakest Link in SDGs Indicators](#)」（英語）を発表し、環境データの収集や活用の強化が重要というメッセージを発信しました。

<アジア>

UNESCAP 主催、[SDGs Week](#) に参加

（2016 年 11 月 28 日-12 月 2 日、バンコク）



SDGs Week の様子

アジア地域における SDGs 実施の進捗に関し、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）主催で SDGs Week が開催され、SDGs を効果的に実施していく上での課題、UNESCAP の役割、相互学習、能力開発などについて各々の視点から議論がされました。特に、フォローアップとレビュー、都市のガバナンス、地方レベルでの実施などに着目し、政府、自治体、民間セクター、アカデミアなど様々なステークホルダーが参加しました。SDGs Week を通じて、SDGs の特徴である統合的な実施の重要性が改めて認識され、特に自治体の役割に焦点があてられました。CityNet や UNESCAP、ソウル市などが都市間協力や優良事例を共有する SDGs 実施のためのウェブプラットフォームの構築を進めており、日本の都市も優良事例を共有するなどして、積極的に参画することが期待されています。本会議に IGES からサイモン・オルセン主任研究員も参加し、SDGs を統合的に実施していく上で必要なステップをまとめたディスカッションペーパー「[Taking action on the Sustainable Development Goals](#)」を発表しました。



2. 政府の取組み

<国内の動向>

持続可能な開発目標推進本部円卓会議開催、SDGs 実施指針の検討進む



SDGs に係る施策の実施について、関係行政機関の緊密な相互連携を図り、総合的かつ効果的に推進するために設立された SDGs 推進本部による「SDGs 円卓会議」が開催されました（9 月 12 日及び 11 月 11 日）。また、年内策定が予定されている SDGs 実施指針の策定に向けて、政府関係者及び NGO、NPO、有識者、民間セクター、国際機関、各種団体の関係者が出席し、意見交換を行いました。

SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第 2 回会合を開催

(2016 年 12 月 20 日、東京)



2016 年 12 月 20 日に東京で環境省主催（IGES 共催）「SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第 2 回会合」が開催されました。SDGs の達成のためには民間企業が有する技術や資源が不可欠であることから、今回の第 2 回会合においては、企業による本業を通じた SDGs 達成への貢献に焦点があてられ、本業において SDGs に取り組んでいる企業から国際的にも評価されている事例が発表され、約 200 名が傍聴参加しました。本ミーティングは、年度内にあと 1 回開催する予定です。資料は以下 URL より入手可能です。



第 2 回会合の様子

URL : <http://www.iges.or.jp/jp/integrated-policy/20161220.html>

3. 非政府アクターの取組み

<自治体/都市>

第 3 回国連人間居住会議（HABITAT III）でニュー・アーバン・アジェンダが採択

(2016 年 10 月 17-20 日、エクアドル・キト)



20 年に一度行われている国連人間居住会議（HABITAT）の第 3 回会合（HABITAT III）が 2016 年 10 月にエクアドル・キトで行われ、167 カ国から約 36,000 人が参加しました。持続可能な都市の実現に向けて都市が取り組むべき対策をとりまとめた国際的な取組み方針「ニュー・アーバン・アジェンダ(New Urban Agenda)」が採択され、特に都市の目標である SDG11 を実施していく上で重要な指針となります。IGES では、2016 年 11 月 18 日に横浜市主催で開催された「第 5 回アジアスマートシティ会議」において森秀行所長が全体会合のモデレーターを務め、都市が SDGs を進めていく上での課題や機会に関する議論の中で、重要なフレームワークとしてニュー・アーバン・アジェンダについて紹介しました。

3. 非政府アクターの取組み

<企業>

IGES の宮澤主任研究員が SDGs と企業の動きについて紹介！

[SDG コンパス日本語版](#)（GCNJ/IGES 共同翻訳）の紹介と最近の国際的な企業の SDGs 取組み動向に関して、経済人コー円卓会議日本委員会等主催「[2016 年ビジネスと人権に関する国際会議 in 東京](#)」（2016 年 9 月 15 日-16 日、東京）やかながわ地球環境保全推進会議主催「[県民部会・企業部会 地球温暖化の現状/持続可能な開発目標（SDGs）に関する講演会](#)」で登壇しました。

活動報告はこちら：<http://www.iges.or.jp/jp/alliges/20161125.html>



県民部会・企業部会にて発表を行う IGES の宮澤主任研究員

SDGs と企業の取組みに関する IGES SDGs Updates 「[企業報告書から見る SDGs 活用の現状と課題～SDG コンパスを主軸に](#)」を発表

各企業の CSR/サステナビリティ報告書も出揃ったところ、これらの報告書をもとに各企業の SDGs への取組み状況がどの程度増えつつあるのか、また、SDG コンパスの提唱する社内展開プロセスがどこまで実施されているか、といった点に問題意識を置き、現状を整理しました。IGES では、今後も企業の SDGs 取組み状況に関する実態調査を引き続き実施していきます。



パートナーシップに関するシンポジウムで登壇する IGES の松下シニアフェロー

[持続可能な地域づくりと企業や自治体のパートナーシップに関するシンポジウム](#)に松下和夫 IGES シニアフェローが登壇

地域が抱える課題の解決に向けた取組みは、SDGs の実現における重要なファクターの一つであり、地域そのものが SDGs の重要な実施主体となる一方、地域にとって SDGs は、持続可能な地域を実現するためのツールとしても捉えることができます。2016 年 12 月 15 日に開催されたシンポジウムでは、各地の持続可能な地域づくりに向けた取組み事例を共有し、企業や自治体とのパートナーシップのあり方について議論が行われました。

<研究機関・市民社会 等>

IGES と東京都市大学が SDGs 実施（環境教育や都市分野）に向けて協定を締結！

IGES は、2016 年 10 月 3 日、東京都市大学と SDGs の実施の促進に向けて、アジア地域を中心とする国際的な環境協力に関する研究・教育を推進することを目指して包括協定を締結し、包括協定文書において共同研究プロジェクトの推進などを盛り込みました。

調印式の様子は[こちら](http://www.iges.or.jp/jp/announcement/20161004.html)：<http://www.iges.or.jp/jp/announcement/20161004.html>

また、その一環で、12 月 8 日に、東京都市大学/IGES/SPEED 研究会共催 特別セミナー「[持続可能な開発目標元年を振り返る -気候変動、循環経済、自然資本に関する目標達成に向けた展望-](#)」を開催し、SDGs と持続可能な消費と生産（SCP）に関する政策動向について、藤野純一上席研究員および堀田康彦エリアリーダーが登壇しました。



調印式にて



特別セミナーの様子

3. 非政府アクターの取組み



調印式にて



IGES が国際持続可能開発研究所（IISD）と連携協力に関する覚書を締結！

IGES は、2016 年 10 月 27 日に国際持続可能開発研究所（IISD：International Institute for Sustainable Development、本部カナダ）と持続可能な開発（特に SDGs について）や気候変動分野等での連携協力に向けた覚書を締結しました。本覚書の締結により、IGES と IISD は、研究プロジェクトでの連携や主要な国際交渉・国際動向に関する情報共有を図り、知識管理・アウトリーチ活動での協力を強化していきます。具体的には、IISD が発行する Earth Negotiations Bulletin（ENB：環境や開発に関する主要な国際交渉・国際会議の進捗レポート）を活用し、IGES の主要イベントの掲載や IGES 研究員の ENB への参加、日本語翻訳版の展開等を積極的に進めています。

調印式の様子：<http://www.iges.or.jp/jp/announcement/20161101.html>

なお、IISD は本年より国際的な SDGs に関する情報プラットフォーム「[SDGs Knowledge Hub](#)」を立ち上げ、毎日最新動向を提供しています。

4. 今後の主要イベント

持続可能な開発データに関する世界フォーラム（世界データフォーラム）/World Forum on Sustainable Development Data (World Data Forum) (2017 年 1 月 15-18 日、南アフリカ・ケープタウン)

URL: <http://undataforum.org/>

世界経済フォーラム 2017/World Economic Forum Annual Meeting 2017 (2017 年 1 月 17-20 日、スイス・ダボス)

URL: <https://www.weforum.org/events/world-economic-forum-annual-meeting-2017>

第 5 回 SDG 指標専門家会合 (IAEG-SDGs) /The 5th Meeting of the Inter-Agency and Expert Group on the Sustainable Development Goal Indicators (IAEG-SDGs)(2017 年 3 月 30 日(予定))

URL: <http://unstats.un.org/sdgs/meetings/>

SDGs プロジェクト
“Aspiration to
Action”

www.iges.or.jp/jp/sdgs/

発行日：2016 年 12 月

編集・発行：公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11

TEL: 046-855-3853 Fax: 046-855-3809 E-mail: ipss-info@iges.or.jp

※このニュースレターの内容は執筆者の見解であり、IGES の見解を述べたものではありません。

Copyright © 2016 Institute for Global Environmental Strategies.

All rights reserved.